



農業労働力の安定確保に向けた 調査研究



農業の担い手減少・高齢化

産地維持のためには
労働力の確保が重要課題

地域全体の人口減少・高齢化
地域内からの労働力確保が困難に

労働力の活用状況を調査
労働力確保に向けた改善点を検討

- ・ JA無料職業紹介所
- ・ JA子会社等の作業受託
- ・ 障がい者就労支援施設(農福連携)
- ・ シルバー人材センター
- ・ 人材派遣アプリ 等

研究の概要

- ◆ 新たな労働力(農福連携)の活用に向けた調査

障がい者就労支援施設(農福連携)の活用状況調査
労働者向け作業マニュアル・作業単価表作成

- ◆ 労働力確保が進んでいる地域・品目の労働力確保状況調査

県内市町村における労働力確保状況調査
ニンジン生産者の労働力確保状況調査

- ◆ 生産者の臨時雇用労働力確保状況および意向調査

JAレタス部会員へのアンケート調査

新たな労働力（農福連携）の活用に向けた調査

農作業を行っている就労支援施設の事例調査

就労支援施設の菌床しいたけ事例

→農福連携事例兼しいたけ作業マニュアルの作成

農福連携の活用が可能な作業の調査

かんしょ 8 作業（定植、調整作業等）

菌床しいたけ 7 作業（菌床並べ、収穫・パック詰め等）

にんにく 2 作業（植付け、出荷調整作業）

ねぎ 2 作業（調整、箱詰め）

→作業単価案の作成

労働者向け作業マニュアル・作業単価表作成

労働者向け作業マニュアル

しいたけ作業マニュアル

きんしょう しんすい 菌床の浸水

- ① きんしょう しんすいよう つ
菌床を浸水用コンテナに詰める。

- ② あみ
網をのせる。

- ③ もくざい
木材をのせる。

- ④ てつざい
鉄材をのせる。


- ⑤ こてい
しっかり固定されていることを
かくにん
確認する。

- ⑥ コンテナの排水キャップが閉まって
いることを確認する。

- ⑦ みず い まんすい
コンテナに水を入れ、満水になれば
じゃぐち
蛇口を閉める。

- ⑧ いったいじかんこ はいすい
一定時間後に、排水キャップを
はいすい
開いて排水する。


しいたけ作業マニュアル

きんしょう たな だ 菌床の棚出し

- ① エプロン てぶくろ ながぐつ
、手袋、長靴を
まうちやく
装着する。

- ② コンテナからきんしょう と だ
菌床を取り出して
てお ぐるま
手押し車にのせる。

- ③ きんしょう たな なら
菌床を棚に並べていく。


あな あ
穴が開いて
めん うえ
いる面を上
にする
- きんしょう ていきてき しんすい
菌床は、定期的に 浸水する。
にだん つ
二段に詰ん
だ菌床は
きんしょう
しんすいまわ
浸水に回
す。
- ふる きんしょう はき
古い菌床は、破棄する。
お
落としてあ
きんしょう
菌床は、
はき
破棄として
はたけ
畑にすき込
む。

ひだり ず
左の図は、
てお ぐるま
手押し車に
きんしょう
菌床をのせ過ぎ。

労働者向け作業マニュアル・作業単価表作成

作業単価表(かんしょ)

品目名	作業内容	単価 (案)	単位	1時間の想定作業量				参考:生産現場の状況
				施設 利用者	単位	パート等	単位	
かんしょ	定植用の苗づる作成 (切取り、束作成、殺菌剤浸漬)	***	円/100苗	***	苗/h	***	苗/h	*人×*時間で、10,000苗作成
	定植 (マルチカット、手挿し、紙載せ)	**、***	円/3,000本 (10a相当)	***	本/h	**	本/h	*人×*時間で、3,000本定植
	除草(畝間部分)	**、***	円/10a	*	a/h	**	a/h	*人×*時間で、12.5aを除草
	畝の枕部分の収穫(手掘り)	*,***	円/150株 (10a相当)	**	株/h	**	株/h	*人×*時間で、48株を収穫 (※**株/畝枕、**畝/10a)
	収穫後のほ場片付け (つる寄せ)	*,***	円/10a	**	a/h	**	a/h	*人×*時間で、10aを対応
	収穫後のほ場片付け (イモ除去)	*,***	円/10a	**	a/h	**	a/h	*人×*時間で、10aを対応
	新イモ調整作業(根取り)	*,***	円/80kg (コンテナ4つ)	**	kg/h	**	kg/h	*人×*時間で、80kgを調整
	袋詰め(S,2S)	***	円/35袋 (1コンテナ)					

生産者と労働者のマッチング促進 ▶ 労働力確保を目指す

県内市町村における労働力確保状況調査

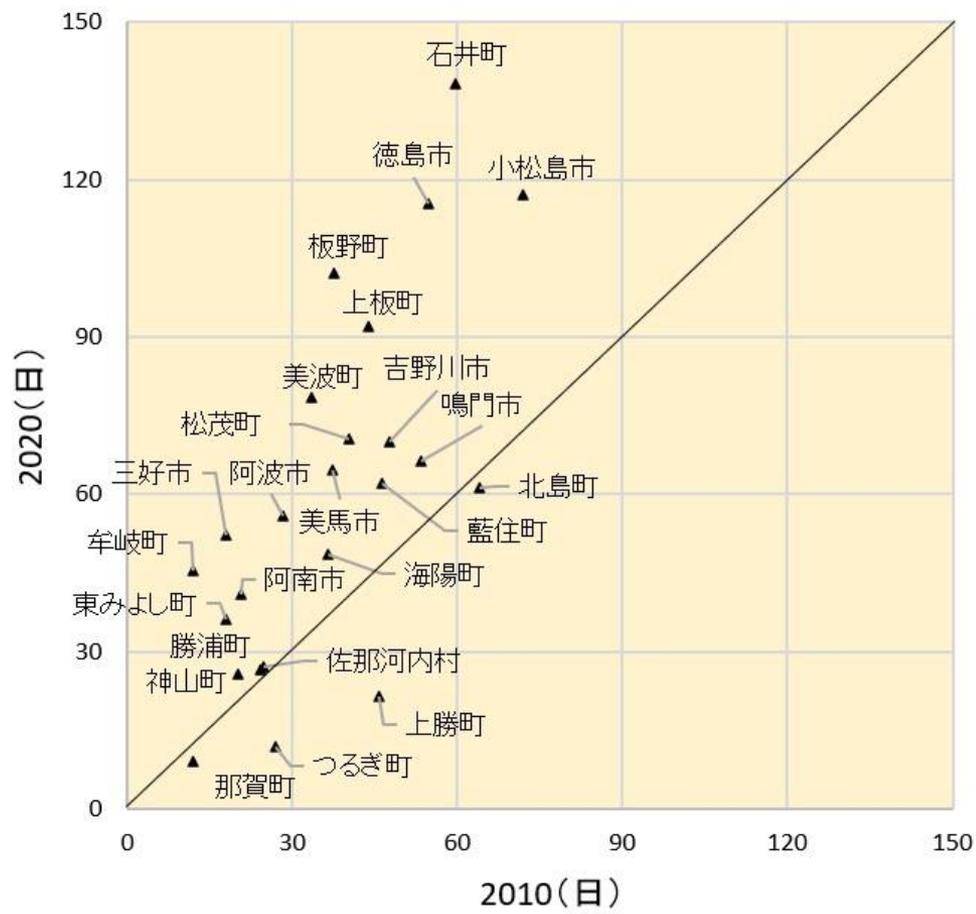
2020年農林業センサスと
2010年世界農林業センサスの
雇用者数を市町村別に比較

雇用者実人数は全市町村で減少

雇用者一人あたり雇用日数
(雇用延べ日数/雇用者数)は
多くの市町村で増加

→雇用者一人あたり雇用日数の
長期化

1人あたり雇用日数(2020 vs. 2010)



労働力確保が進んでいる地域・品目の労働力確保状況調査

雇用延べ人日が増加した4市町の常雇い・臨時雇い別比較

常雇い

	延べ人日2010	延べ人日2020	2020/2010
徳島市	57,336	57,417	1.0
石井町	18,899	31,561	1.7
板野町	5,100	37,460	7.3
上板町	17,054	30,065	1.8

臨時雇い

	延べ人日2010	延べ人日2020	2020/2010
徳島市	63,775	109,057	1.7
石井町	16,215	6,206	0.4
板野町	25,931	17,121	0.7
上板町	9,706	11,560	1.2

板野町で常雇い(あらかじめ7ヶ月以上の契約で雇用)による雇用人日が大幅増加

労働力確保が進んでいる地域・品目の労働力確保状況調査

JAへの聞き取り調査結果

- ・板野町、上板町の春夏ニンジン生産者で常雇いの雇用が多い
(統計データと一致)
- ・春夏ニンジンで必要とする労働力
作業時期：3～5月(収穫) 10～12月(ハウス設置・ビニール張り)
作業内容：ほ場での力仕事

生産者は短期間の雇用を必要としている
(常雇いが多い実態とのミスマッチ)

露地ナスなど他品目と複合して周年作業を作り、
周年雇用を希望する求職者を雇うことで労働力確保

- ・現状は労働力確保できているが、将来的には不足が懸念される
→短期の人材派遣アプリなど、新たな短期の求職者との
マッチング方法が有効と考えられた

生産者の臨時雇用労働力確保状況および意向調査

冬春レタス生産部会へのアンケート調査

部会員の減少や高齢化により
栽培面積減少

地域内の人材で主にまかなわれていた
臨時雇用労働力の減少も、栽培面積減少の一因となっている可能性



臨時雇用労働力の確保状況や意向について部会員に対するアンケート調査を実施

農業労働力に関するアンケート

問1 経営主の方の年代を教えてください。
 30歳代以下 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代以上

問2 ご本人以外で、ふだん農業に従事している方を教えてください。
 家族()人 その他(パート従業員等)()人

問3 あなたは農繁期に人手をお願いしていますか。
 している(問4-①へ) していない(問4-②へ)

問4-①(問3で「している」とお答えの方へ) どのような人手をお願いしていますか。
 家族・親戚
 ご近所の方・知り合い
 シルバー人材センター等からのアルバイト
 福祉事業所(農福連携)
 その他()

問4-②(問3で「していない」とお答えの方へ) お願いしていない理由は何ですか。
 頼みたいが人手が見つからないから
 賃金を支払う余裕が無いから
 人手が不要な経営規模に収めているから
 人手の作業管理をするのが煩わしいから
 その他()

問4-③(問3で「している」とお答えの方へ) お願いしている作業・時期は何ですか。
(問3で「していない」とお答えの方へ) お願いしたいと思う作業・時期は何ですか。

<input type="checkbox"/> ほ場準備、片付け	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
<input type="checkbox"/> 播種・定植作業	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
<input type="checkbox"/> ピニール・マルチ張り作業	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
<input type="checkbox"/> ほ場での栽培管理や防除	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
<input type="checkbox"/> 収穫・調整作業	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
<input type="checkbox"/> その他()	時期(月): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

問5-① 以前(就農～10年程前)と比較して、農繁期にお願いする人手はどうなりましたか。
 減少した(問5-②へ) 変わらない 増加した

問5-②(問5-①で「減少した」とお答えの方へ) 減少した理由は何ですか。
 毎年お願いしていた方が(高齢化等の事情で)これなくなった
 募集に応じてくれる人が減少した
 経営規模の縮小などで農繁期だけの人手が不要になった
 その他()

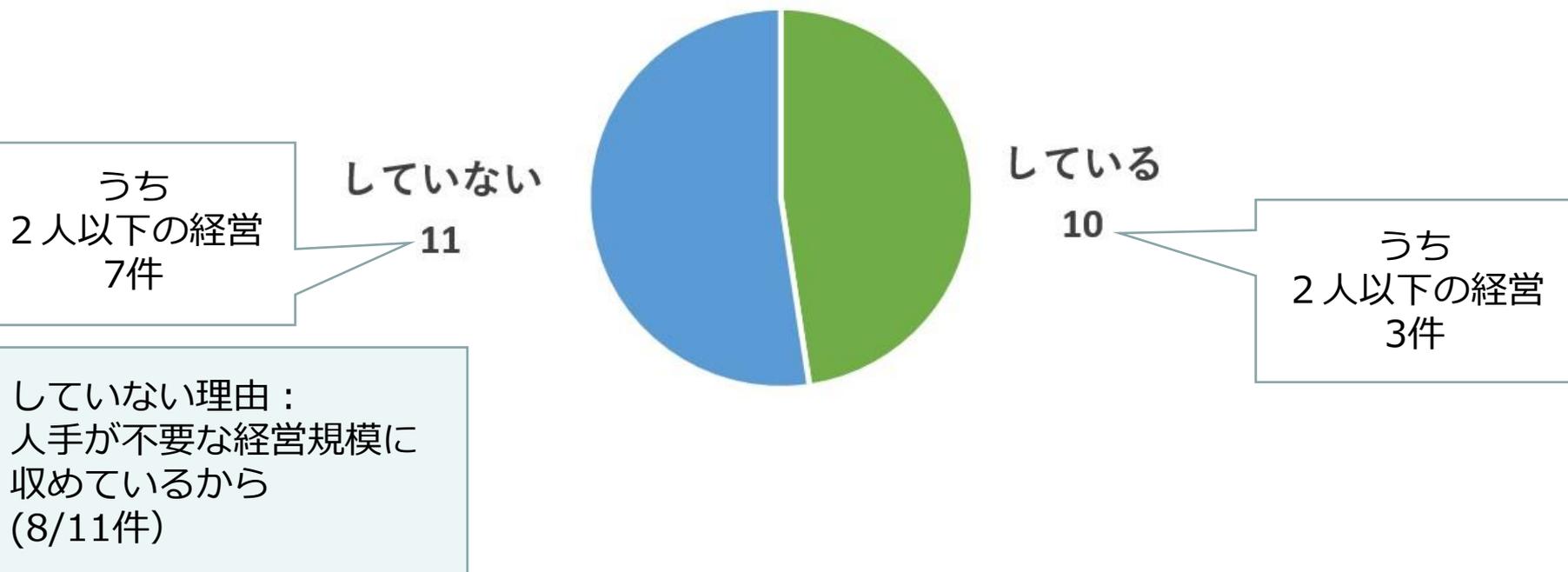
問6 以前(就農～10年程前)と比較して、栽培面積はどうなりましたか。
 減少した 変わらない 増加した

問7 新たに農繁期の人手が確保できれば、栽培面積の維持・拡大は可能ですか。
 はい(維持拡大できる) いいえ わからない

ご協力ありがとうございました。

レタス部会へのアンケート調査結果

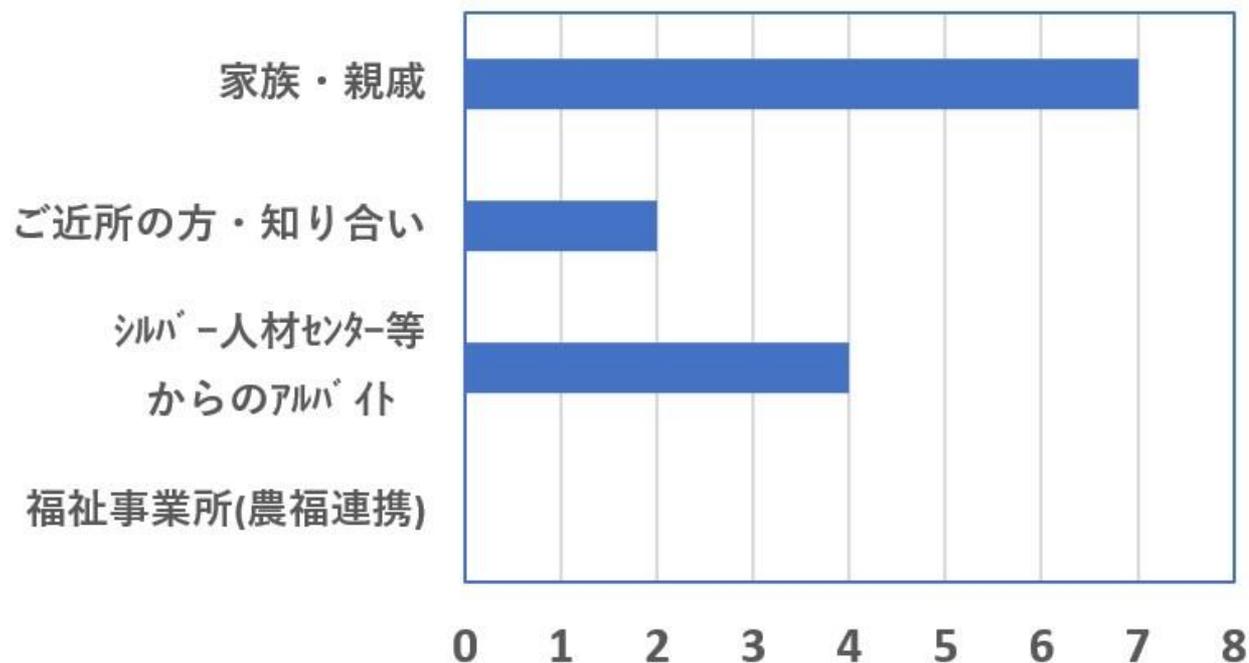
農繁期の臨時雇用を確保しているか



- ・ 2人以下(経営主のみ、または経営主+家族1名)の比較的少人数の経営で臨時雇用が少ない傾向
- ・ 雇用していない理由「人手が不要な経営規模に抑えている」が大勢を占める

レタス部会へのアンケート調査結果

雇用労働力の内容



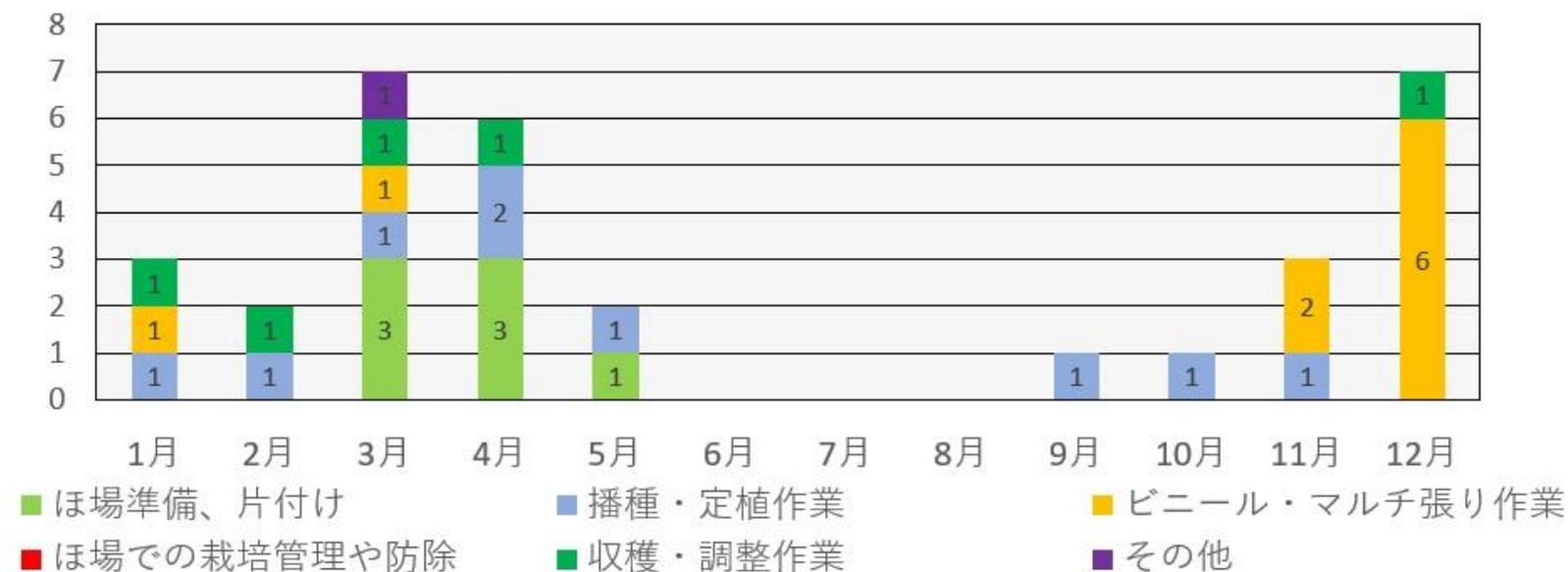
- ・延べ13件のうち「家族・親戚」7件、「ご近所の方・知り合い」2件で多くが経営主の関係者から確保されている
- ・シルバー人材センター等関係者以外の雇用は4件と少なく、農福連携事例はなし

レタス部会へのアンケート調査結果

臨時雇用による作業・時期

単位：人

お願いしている作業と時期

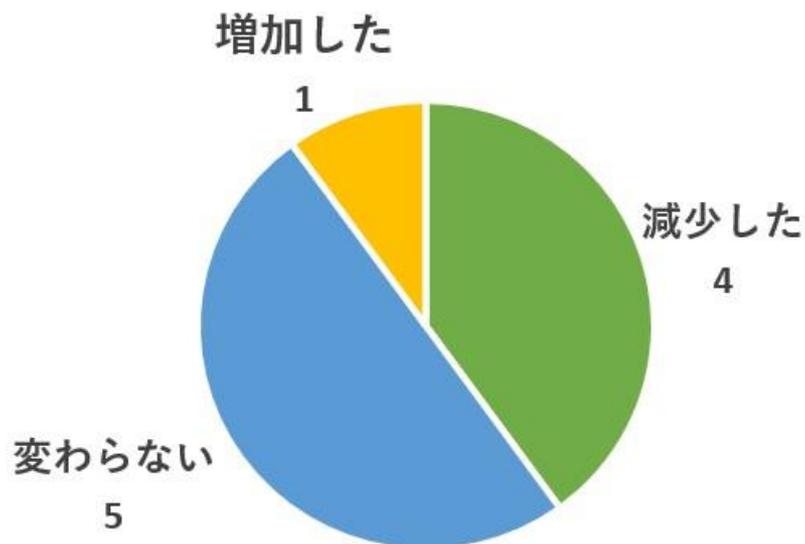


- ・ 12月のビニール・マルチ張り作業が6件と最も多く、次いで3、4月のほ場準備、片付けが各3件
- ・ 多くの作業が12、3、4月に集中する一方で6～8月の作業はなし

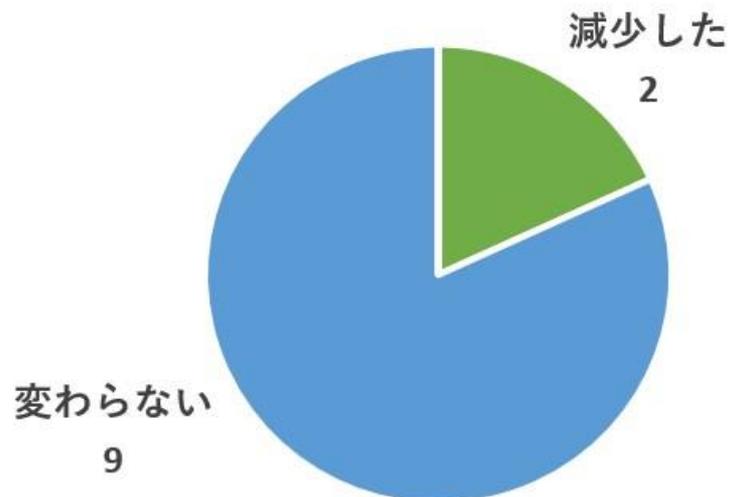
レタス部会へのアンケート調査結果

就農～10年程前と比較した臨時雇用の増減

(1)現在臨時雇用有り



(2)現在臨時雇用無し



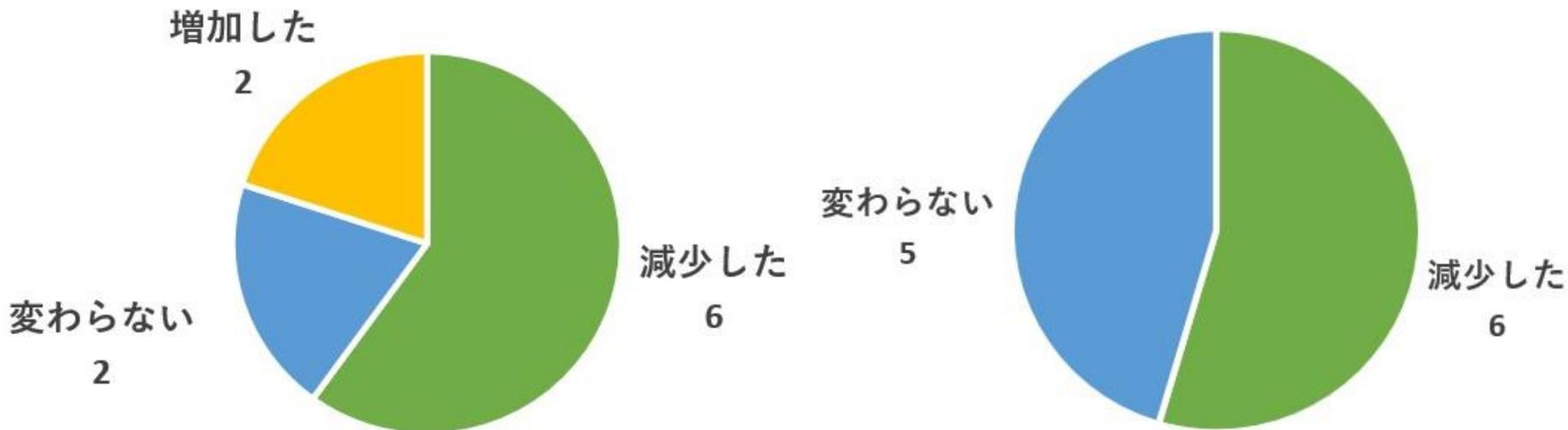
- ・ 現在臨時雇用している10件のうち4件は雇用数減少していた
- ・ 現在臨時雇用無い方の多く(11件中9件)は以前から雇用しておらず、2件は雇用をとりやめていた

レタス部会へのアンケート調査結果

就農～10年程前と比較した栽培面積の増減

(1)現在臨時雇用有り

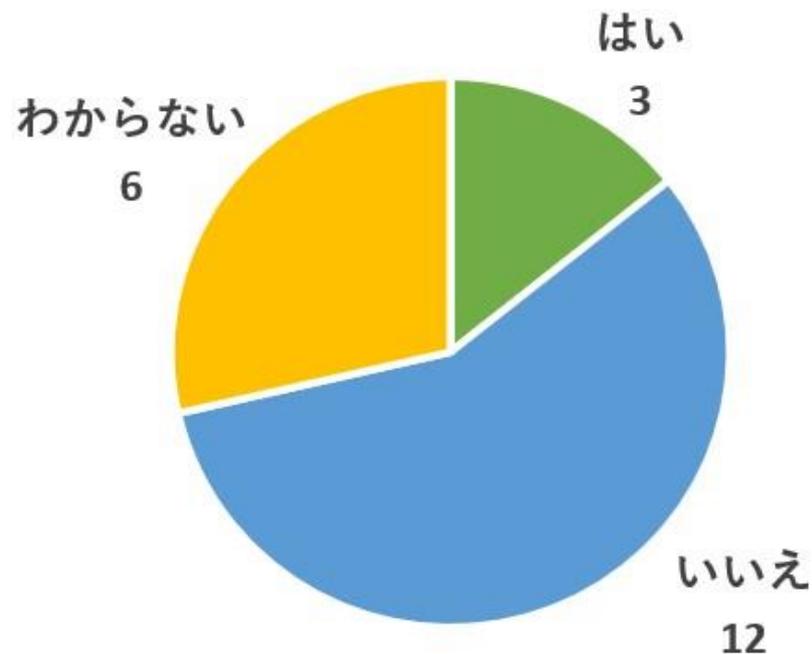
(2)現在臨時雇用無し



- ・ 現在臨時雇用有る10件のうち6件で面積減少していたが2件で増加
- ・ 現在臨時雇用無い11件のうち6件で面積減少

レタス部会へのアンケート調査結果

新たに臨時雇用が確保できれば面積の維持拡大は可能か



新たな臨時雇用の確保によって栽培面積の維持拡大が可能とはいえない（または分からない）との意見が多数
→農繁期の人手確保が栽培面積の維持拡大に必ずしも直結する要素とは考えられていない

レタス部会へのアンケート調査結果まとめ

- 臨時雇用の多くが地域内の人材でまかなわれており、人材不足等により雇用人数は減少
- 従事者数の多い経営の中には臨時雇用によって栽培面積の維持拡大が可能との意見がある一方、維持拡大にはつながらないとの意見が大半を占める
- 作業内容や時期が限られるため、他品目との連携による作業通年化等の対応が円滑な労働力確保の一助になる可能性
- 各経営体の経営規模等の状況によっては、臨時雇用に限らず作業委託など他の労力軽減方法も有効と考えられた

結果まとめ

- ◆ 農福連携は、かんしょ等多くの品目で活用可能であり、作業の細分化と作業マニュアル及び作業単価表の作成によってマッチング可能と考えられた。
- ◆ 雇用労働力の確保が進んでいる地域において雇用状況を調査したところ、本来必要とする短期雇用は十分に確保できてはならず、新たな短期の求職者とのマッチング方法が有効と考えられた。
- ◆ 生産者へのアンケート結果から、他品目との連携による作業の通年化が円滑な労働力確保の一助になる可能性がある一方、各経営体の経営規模等の状況によっては作業委託等の労力軽減方法も有効と考えられた。